

○事業所名	つばさ園		
○保護者評価実施期間	2025/09/22		2025/11/03
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28 (回答者数)	10
○従業者評価実施期間	2025/09/22		2025/11/03
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価作成日	2025/12/14		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者様に寄り添った支援	一人一人に寄り添い、話をしっかり聞き、利用者様の意見等受け入れて支援しています。また、将来像をイメージして、現在必要な支援を職員間で共有した支援を心がけています。	当法人は、児童発達支援から就労支援まで幅広く事業を展開しているため、利用者様に必要な支援を具体的にイメージしながら支援に取り組むことができています。今後も、法人の規模を活かし、事業所間での研修の機会を継続することで、利用者様の将来を見据えた支援を行ってまいります。
2	プログラム内容の工夫や充実	課題遊び、制作、レク等の活動を週ごとに変更しながら工夫してプログラム内容を検討、提供しています。様々な活動を取り入れることで沢山の経験を積み重ねられるように支援しております。	年齢に応じて必要な経験を意識的に取り入れるよう努めてまいります。また、創作活動等においては、より本格的なものに触れる機会を設けることを検討してまいります。保護者様からいただいたご意見を参考にしながら、プログラムの充実を図ってまいります。
3	落ち着いた事業所 ・当事業所には支援経験10年以上の職員が半数以上在籍しており、落ち着いた環境の中で支援を行えている点です。	保護者様や職員同士で日常の細やかな出来事を共有し、支援を振り返る習慣を大切にしています。職員間のコミュニケーションを活発に行い、気づいた点を皆で検討し、改善に繋げています。	現状の良好な体制を維持しながら、連絡体制や情報共有の仕組みをより明確に整備してまいります。また、支援の質を高めるため、職員間の話し合いや振り返りを継続し、改善を積み重ねてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流や放課後児童クラブ等の他事業所との交流・交流会や他事業との連携の場が十分に設けられていない点です。	感染症の影響により、従来行っていた交流活動が継続できていないことです。また、職員数や車両の制約から、安全に配慮した移動や活動の実施に工夫が必要であることです。	新しい交流の形を模索し、継続的に地域との関わりを深めてまいります。
2	父母の会等の保護者支援 ・利用者様ご本人以外への支援は行っていないことが現状です。	保護者様のご負担を軽減することを優先し、支援活動の実施を控えてきたことです。また、保護者様のニーズを正確に把握するための仕組みが整っていないことです。	保護者様がどのような支援を望まれているのか、ニーズの把握に努めてまいります。また、保護者様と必要な支援の形を共に考えてまいります。
3	静養空間の不足 ・静養できる専用の部屋数が限られているため、複数の方が同時に個別空間を希望された際に柔軟な対応が難しい点です。	建物の構造上、部屋数に制約があることが要因となっています。	パーティションや簡易的な仕切りを活用し、静かに過ごせるスペースを増やします。また、利用者様の希望を伺いながら、安心して過ごせる環境づくりに取り組んでまいります。